

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 更生保護制度	授業の種類 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">講義</span> ) 演習 ・ 実技	授業担当者 前原 良彦	
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (1単位)	配当学年・時期 1年・後期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>更生保護制度の基礎を踏まえたうえで、更生保護制度の意義と目的などに関する基礎的事項を分野横断的、体系的に学ぶ。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>更生保護制度に関する基本知識を理解し適切に説明できる。 更生保護制度を具体的に理解し、その特徴を考察し、実際に更生保護制度を行える。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>第1回 刑事司法の中の更生保護の歴史 更生保護法のできるまで</p> <p>第2回 更生保護とは？更生保護の対象 保護観察の2つの機能</p> <p>第3回 補導援護の方法</p> <p>第4回 非行・犯罪臨床 少年非行</p> <p>第5回 犯罪臨床(刑事司法における犯罪者&lt;成人&gt;に対する手続き)</p> <p>第6回 仮釈放・仮出場</p> <p>第7回 仮釈放・少年院からの仮退院・婦人補導院からの仮退院</p> <p>第8回 仮釈放等の手続き・収容中の者に対する生活環境の調整・法定期間経過の通告</p> <p>第9回 36条調査・25条調査等・仮釈放等の許可基準</p> <p>第10回 保護観察…保護観察の目的・保護観察の方法・保護観察対象者5種類</p> <p>第11回 保護観察の方法—指導監督と補導援護 保護観察の方法—遵守事項、保護観察対象者の種類とその特徴、その終了時の状況…保護観察処分少年(1号観察)、少年院仮退院者(2号観察)、仮釈放者(3号観察)、保護観察付執行猶予者(4号観察)、婦人補導院仮退院者(5号観察)</p> <p>第12回 更生保護制度の担い手 保護観察官・協力雇用主</p> <p>第13回 更生保護制度の担い手 保護司</p> <p>第14回 更生保護施設</p> <p>第15回 医療観察制度</p>			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>更生保護制度 渡辺 信英 著 南窓社 社会福祉士国家試験のためのレビューブック2019 社会福祉士国試ナビ2019</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位取得には8割以上の出席が必要</li> <li>・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要</li> </ul>	

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 国試対策ゼミ I		授業の種類 (講義・演習・実技)	授業担当者 川本 公代 (実務経験者)	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 60時間(2単位)	配当学年・時期 1年・後期		必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する支援と介護保険制度の基礎を再確認し、応用力をつける。</li> <li>・相談援助の基盤と専門職・相談援助の理論と方法について復習し、さらに応用力をつける。</li> </ul> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬試験に結果を出す。</li> <li>・過去問題・模擬問題を確実に解くことができる。</li> </ul>				
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>レビューブックに準拠したプリント+過去問題・模擬試験問題・模擬問題を解き苦手な所を自覚し理解を深める。</p> <p>1・2 介護保険復習          3・4 介護過程          5・6 老人福祉法          7 高齢者雇用安定法・高齢社会対策基本法          8 高齢者住まい法・バリアフリー法          9 高齢者虐待防止法・高齢者の医療の確保に関する法律          10 高齢社会白書・生活基礎調査 復習          11・12・13・14・15・16 高齢者に対する支援と介護保険制度 模擬試験問題答練・解説          17・18・19・20 相談援助の基盤と専門職 過去問題・模擬問題答練・解説          21・22・23・24・25・26 相談援助の理論と方法 過去問題・模擬問題答練・解説          27・28・29・30 重要事項復習</p>				
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <p>社会福祉士国家試験のための レビューブック MEDIC MEDIA</p>		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位取得には8割以上の出席が必要</li> <li>・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要</li> </ul>		

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

授業のタイトル (科目名) 国試対策ゼミⅡ (前原)	授業の種類 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">講義</span> ・ 演習 ・ 実技 )	授業担当者 前原 良彦	
授業の回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (2単位)	配当学年・時期 1年 後期	必修・選択 必修
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>各科目(心理学理論と心理的支援,就労支援サービス)の基礎を復習し知識の整理をする。模擬問題に触れ、解き方、問題の傾向を学ぶ。</p> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <p>各科目模擬試験の正答率が50%以上となっている。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 心と脳/欲求・動機づけと行動</li> <li>2 適応(防衛)機制</li> <li>3 感覚・知覚・認知</li> <li>4 学習・記憶・思考</li> <li>5 人格・性格・類型論・特性論</li> <li>6 集団・発達</li> <li>7 人の成長・発達と心理・発達段階、発達課題 PM 理論</li> <li>8 アタッチメント・アイデンティティ・臨界期</li> <li>9 ストレスとストレッサー・ストレスマネジメント</li> <li>10 人格検査</li> <li>11 カウンセリングの概念と範囲</li> <li>12・13 心理療法</li> <li>14 心理学のまとめ整理</li> <li>15 雇用・就労の動向</li> <li>16 労働法規の概要</li> <li>17 生活保護制度における就労支援</li> <li>18 障害者福祉制度における就労支援</li> <li>19 障害者雇用率制度</li> <li>20 ハローワークと就労支援</li> <li>21 就労支援における専門職の役割と実際</li> <li>22 他分野との連携</li> <li>23 就労政策等</li> <li>24・25・26・27・28・29・30 4科目総復習</li> </ol>			
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> 社会福祉士国試のためのレビューブック 2019 社会福祉士国試これだけ1問1等要点まとめ 2019		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位取得には8割以上の出席が必要</li> <li>・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要</li> </ul>	

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

科目名 国試対策ゼミⅢ	授業の種類 講義	授業担当者 立花 匡真			
授業回数 30回	時間数(単位数) 60時間(2単位)	配当学年・時期 1学年・後期	必修・選択 必修		
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する</li> <li>2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける</li> </ol> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <p>担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 過去問題が解けるようになる</li> <li>2 確認試験で三つに絞った内容を知識として確実に身に付ける。</li> </ol>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 公的扶助(第8回)</li> <li>2 法学(第8回)</li> <li>3 社会学(第9回)</li> <li>4 福祉行財政と福祉計画(第9回)</li> <li>5 社会保障(第9回)</li> <li>6 公的扶助(第10回)</li> <li>7 法学(第9回)</li> <li>8 法学(第10回)</li> <li>9 法学(第11回)</li> <li>10 法学(第12回)</li> <li>11 社会学(第10回)</li> <li>12 福祉行財政と福祉計画(第10回)</li> <li>13 社会保障(第10回)</li> <li>14 福祉行財政と福祉計画(第11回)</li> <li>15 法学(第13回)</li> <li>16 社会学(第11回)</li> <li>17 福祉行財政と福祉計画(第12回)</li> <li>18 法学(第14回)</li> </ol> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>19 社会学(第12回)</li> <li>20 福祉行財政と福祉計画(第13回)</li> <li>21 社会保障(第11回)</li> <li>22 公的扶助(第11回)</li> <li>23 社会学(第13回)</li> <li>24 福祉行財政と福祉計画(第14回)</li> <li>25 社会学(第14回)</li> <li>26 社会保障(第12回)</li> <li>27 法学(第15回)</li> <li>28 法学(第16回)</li> <li>29 過去問題分析・演習Ⅰ</li> <li>30 過去問題分析・演習Ⅱ</li> </ol> </td> </tr> </table>				<ol style="list-style-type: none"> <li>1 公的扶助(第8回)</li> <li>2 法学(第8回)</li> <li>3 社会学(第9回)</li> <li>4 福祉行財政と福祉計画(第9回)</li> <li>5 社会保障(第9回)</li> <li>6 公的扶助(第10回)</li> <li>7 法学(第9回)</li> <li>8 法学(第10回)</li> <li>9 法学(第11回)</li> <li>10 法学(第12回)</li> <li>11 社会学(第10回)</li> <li>12 福祉行財政と福祉計画(第10回)</li> <li>13 社会保障(第10回)</li> <li>14 福祉行財政と福祉計画(第11回)</li> <li>15 法学(第13回)</li> <li>16 社会学(第11回)</li> <li>17 福祉行財政と福祉計画(第12回)</li> <li>18 法学(第14回)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>19 社会学(第12回)</li> <li>20 福祉行財政と福祉計画(第13回)</li> <li>21 社会保障(第11回)</li> <li>22 公的扶助(第11回)</li> <li>23 社会学(第13回)</li> <li>24 福祉行財政と福祉計画(第14回)</li> <li>25 社会学(第14回)</li> <li>26 社会保障(第12回)</li> <li>27 法学(第15回)</li> <li>28 法学(第16回)</li> <li>29 過去問題分析・演習Ⅰ</li> <li>30 過去問題分析・演習Ⅱ</li> </ol>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 公的扶助(第8回)</li> <li>2 法学(第8回)</li> <li>3 社会学(第9回)</li> <li>4 福祉行財政と福祉計画(第9回)</li> <li>5 社会保障(第9回)</li> <li>6 公的扶助(第10回)</li> <li>7 法学(第9回)</li> <li>8 法学(第10回)</li> <li>9 法学(第11回)</li> <li>10 法学(第12回)</li> <li>11 社会学(第10回)</li> <li>12 福祉行財政と福祉計画(第10回)</li> <li>13 社会保障(第10回)</li> <li>14 福祉行財政と福祉計画(第11回)</li> <li>15 法学(第13回)</li> <li>16 社会学(第11回)</li> <li>17 福祉行財政と福祉計画(第12回)</li> <li>18 法学(第14回)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>19 社会学(第12回)</li> <li>20 福祉行財政と福祉計画(第13回)</li> <li>21 社会保障(第11回)</li> <li>22 公的扶助(第11回)</li> <li>23 社会学(第13回)</li> <li>24 福祉行財政と福祉計画(第14回)</li> <li>25 社会学(第14回)</li> <li>26 社会保障(第12回)</li> <li>27 法学(第15回)</li> <li>28 法学(第16回)</li> <li>29 過去問題分析・演習Ⅰ</li> <li>30 過去問題分析・演習Ⅱ</li> </ol>				
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> レビューブック、クエスチョンバンク		<p>[単位認定の方法及び基準]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位取得には8割以上の出席が必要</li> <li>・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要</li> </ul>			

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

科目名  国試対策ゼミ IV	授業の種類  講義	授業担当者 立花匡真 前原良彦 川本公代 (実務経験者) 名地宙 (実務経験者)																																																																	
授業回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (2単位)	配当学年・時期 1年・後期	必修・選択 必修																																																																
[授業の目的・ねらい] 1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する 2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける  [授業全体の内容の概要] 担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。 模擬試験で実力を確認し苦手科目を克服する。  [授業終了時の達成課題 (到達目標)] 1 過去問題が解けるようになる 1~15 立花 16 前原 17 名地 18~30 川本																																																																			
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]																																																																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">コマ数</th> <th style="width: 40%;">テーマ</th> <th style="width: 10%;">コマ数</th> <th style="width: 40%;">テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>医学一般 (第5回)</td><td>16</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>2</td><td>保健医療サービス (第4回)</td><td>17</td><td>問題演習</td></tr> <tr><td>3</td><td>医学一般 (第6回)</td><td>18</td><td>高齢者・基盤と専門職・援助理論問題演習</td></tr> <tr><td>4</td><td>保健医療サービス (第5回)</td><td>19</td><td>模擬試験 I</td></tr> <tr><td>5</td><td>医学一般 (第7回)</td><td>20</td><td>模擬試験 I</td></tr> <tr><td>6</td><td>保健医療サービス (第6回)</td><td>21</td><td>模擬試験 I</td></tr> <tr><td>7</td><td>医学一般 (第8回)</td><td>22</td><td>模擬試験 II</td></tr> <tr><td>8</td><td>医学一般 (第9回)</td><td>23</td><td>模擬試験 II</td></tr> <tr><td>9</td><td>医学一般 (第10回)</td><td>24</td><td>模擬試験 II</td></tr> <tr><td>10</td><td>保健医療サービス (第7回)</td><td>25</td><td>模擬試験 III</td></tr> <tr><td>11</td><td>医学一般 (第11回)</td><td>26</td><td>模擬試験 III</td></tr> <tr><td>12</td><td>保健医療サービス (第8回)</td><td>27</td><td>模擬試験 III</td></tr> <tr><td>13</td><td>問題演習 I</td><td>28</td><td>模擬試験 IV</td></tr> <tr><td>14</td><td>問題演習 II</td><td>29</td><td>模擬試験 IV</td></tr> <tr><td>15</td><td>問題演習 III</td><td>30</td><td>模擬試験 IV</td></tr> </tbody> </table>	コマ数	テーマ	コマ数	テーマ	1	医学一般 (第5回)	16	問題演習	2	保健医療サービス (第4回)	17	問題演習	3	医学一般 (第6回)	18	高齢者・基盤と専門職・援助理論問題演習	4	保健医療サービス (第5回)	19	模擬試験 I	5	医学一般 (第7回)	20	模擬試験 I	6	保健医療サービス (第6回)	21	模擬試験 I	7	医学一般 (第8回)	22	模擬試験 II	8	医学一般 (第9回)	23	模擬試験 II	9	医学一般 (第10回)	24	模擬試験 II	10	保健医療サービス (第7回)	25	模擬試験 III	11	医学一般 (第11回)	26	模擬試験 III	12	保健医療サービス (第8回)	27	模擬試験 III	13	問題演習 I	28	模擬試験 IV	14	問題演習 II	29	模擬試験 IV	15	問題演習 III	30	模擬試験 IV			
コマ数	テーマ	コマ数	テーマ																																																																
1	医学一般 (第5回)	16	問題演習																																																																
2	保健医療サービス (第4回)	17	問題演習																																																																
3	医学一般 (第6回)	18	高齢者・基盤と専門職・援助理論問題演習																																																																
4	保健医療サービス (第5回)	19	模擬試験 I																																																																
5	医学一般 (第7回)	20	模擬試験 I																																																																
6	保健医療サービス (第6回)	21	模擬試験 I																																																																
7	医学一般 (第8回)	22	模擬試験 II																																																																
8	医学一般 (第9回)	23	模擬試験 II																																																																
9	医学一般 (第10回)	24	模擬試験 II																																																																
10	保健医療サービス (第7回)	25	模擬試験 III																																																																
11	医学一般 (第11回)	26	模擬試験 III																																																																
12	保健医療サービス (第8回)	27	模擬試験 III																																																																
13	問題演習 I	28	模擬試験 IV																																																																
14	問題演習 II	29	模擬試験 IV																																																																
15	問題演習 III	30	模擬試験 IV																																																																
[使用テキスト・参考文献] レビューブック、クエスチョンバンク、 見て覚える！社会福祉士ナビ2020		[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要																																																																	

# 授 業 概 要

(社会福祉専攻科)

科目名 国試対策ゼミV	授業の種類 講義	授業担当者 名地 宙 (実務経験者)																																							
授業回数 30回	時間数 (単位数) 60時間 (2単位)	配当学年・時期 1年・後期	必修・選択 必修科目																																						
[授業の目的・ねらい] 1 担当の国家試験受験科目の内容を把握する 2 国家試験に合格するための得点力を身に付ける  [授業全体の内容の概要] 担当科目の内容を理解できるよう要点を絞ったプリントを使い解説し、過去問題を解答させ、その解説を行う。  [授業終了時の達成課題 (到達目標)] 1 過去問題が解けるようになる																																									
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] コマ数 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr><td style="width: 50%;">1 福祉サービスの組織と経営</td><td style="width: 50%;">20 児童・家庭福祉論</td></tr> <tr><td>2 福祉サービスの組織と経営</td><td>21 過去問等演習</td></tr> <tr><td>3 過去問等演習</td><td>22 児童・家庭福祉論</td></tr> <tr><td>4 福祉サービスの組織と経営</td><td>23 児童・家庭福祉論</td></tr> <tr><td>5 過去問等演習</td><td>24 過去問等演習</td></tr> <tr><td>6 福祉サービスの組織と経営</td><td>25 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>7 福祉サービスの組織と経営</td><td>26 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>8 過去問等演習</td><td>27 過去問等演習</td></tr> <tr><td>9 地域福祉論</td><td>28 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>10 地域福祉論</td><td>29 就労支援サービス</td></tr> <tr><td>11 過去問等演習</td><td>30 過去問等演習</td></tr> <tr><td>12 地域福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>13 過去問等演習</td><td></td></tr> <tr><td>14 地域福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>15 地域福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>16 過去問等演習</td><td></td></tr> <tr><td>17 児童・家庭福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>18 児童・家庭福祉論</td><td></td></tr> <tr><td>19 過去問等演習</td><td></td></tr> </table>				1 福祉サービスの組織と経営	20 児童・家庭福祉論	2 福祉サービスの組織と経営	21 過去問等演習	3 過去問等演習	22 児童・家庭福祉論	4 福祉サービスの組織と経営	23 児童・家庭福祉論	5 過去問等演習	24 過去問等演習	6 福祉サービスの組織と経営	25 就労支援サービス	7 福祉サービスの組織と経営	26 就労支援サービス	8 過去問等演習	27 過去問等演習	9 地域福祉論	28 就労支援サービス	10 地域福祉論	29 就労支援サービス	11 過去問等演習	30 過去問等演習	12 地域福祉論		13 過去問等演習		14 地域福祉論		15 地域福祉論		16 過去問等演習		17 児童・家庭福祉論		18 児童・家庭福祉論		19 過去問等演習	
1 福祉サービスの組織と経営	20 児童・家庭福祉論																																								
2 福祉サービスの組織と経営	21 過去問等演習																																								
3 過去問等演習	22 児童・家庭福祉論																																								
4 福祉サービスの組織と経営	23 児童・家庭福祉論																																								
5 過去問等演習	24 過去問等演習																																								
6 福祉サービスの組織と経営	25 就労支援サービス																																								
7 福祉サービスの組織と経営	26 就労支援サービス																																								
8 過去問等演習	27 過去問等演習																																								
9 地域福祉論	28 就労支援サービス																																								
10 地域福祉論	29 就労支援サービス																																								
11 過去問等演習	30 過去問等演習																																								
12 地域福祉論																																									
13 過去問等演習																																									
14 地域福祉論																																									
15 地域福祉論																																									
16 過去問等演習																																									
17 児童・家庭福祉論																																									
18 児童・家庭福祉論																																									
19 過去問等演習																																									
[使用テキスト・参考文献] レビューブック、クエスチョンバンク 目で見て覚える U-Can その他市販の問題集等		[単位認定の方法及び基準] ・単位取得には8割以上の出席が必要 ・筆記試験を課し、到達目標の6割以上の修得が必要																																							